

摂食・嚥下障害看護認定看護師について

【自己紹介】

2021年より摂食・嚥下障害看護認定看護師を取得し、3階西病棟にて勤務しています。日々の看護の中で食事をよく食べる患者さんは回復が早く、元気だという印象がありました。そのため、食べる機能について学び、看護することができるようになれば、より病気の治癒や患者さんが病気とうまく付き合っていく手助けになるのではないかと思います。摂食・嚥下障害看護認定看護師を目指しました。摂食嚥下とは何か、現在どのような活動を行っているのか、紹介させていただきます。

～摂食嚥下障害～

摂食嚥下障害とは口から食べる機能の障害です。

摂食嚥下のメカニズム

- ① 食べ物（液体）を目で見て、鼻でにおいを嗅ぎ、食具で口へと運ぶ（先行期）
- ② 口に入れた食べ物を咀嚼し、飲み込みやすい形へ食塊形成する（準備期）
- ③ 嚥下が開始されて食塊を咽頭へと送り込む（口腔期）※意識的
- ④ 咽頭への到達した食塊を食道へと送り込む（咽頭期）※反射的
- ⑤ 食塊が食道蠕動によって胃へと運ばれる（食道期）

これらの一連の動作の一部または複数が何らかの原因により障害され引き起こされます。

摂食嚥下障害の原因

★脳血管疾患 ★神経・筋疾患 ★精神疾患 ★器質的障害（口腔領域の腫瘍や術後）
★認知症 ★加齢 ★薬剤性 ★小児疾患 などなど

摂食嚥下機能に障害が生じると・・・

誤嚥性肺炎・窒息・低栄養・脱水などのリスクが生じます。

これらのリスクは生命活動に大きな影響を及ぼしてしまいます。



～摂食・嚥下障害看護認定看護師としての活動～

活動日（3階西病棟）



現在3階西病棟に所属し、毎月**第2・第4木曜日**に活動日をいただいております。
3階西病棟は脳神経外科、脳神経内科の病棟であり、摂食嚥下障害の原因となる脳血管疾患や神経・筋疾患の患者さんが多く入院してきます。脳血管疾患の患者さんの口腔内環境は悪いことが多く、また脳血管障害による意識障害や摂食嚥下障害を有していることから、誤嚥のリスクが高く、誤嚥してしまうと誤嚥性肺炎を引き起こしてしまう可能性が高いです。そのため、口腔内の観察やアセスメントし、口腔ケアを実施しています。実践からスタッフへのアドバイスをしたり、実際に一緒に実施したりしています。

また、摂食嚥下障害のある患者さんの食事形態や、食事摂取量の少ない患者さんの相談を受けています。NST委員会に所属しており、活動日にはNSTラウンドを実施しております。

研修

認定看護師を取得してからこれまでに2回、以下の内容で研修を実施させていただきました。
『口腔ケアの目的と方法』『とろみ調製剤の効果的な使用方法について』

今後の目標

患者さんの摂食嚥下機能を維持向上するために、訓練や口腔内環境の改善をスタッフ全体で取り組めるようなシステム・チーム作りを目標とし、自身の知識や技術の研鑽はもちろん実践を多く行えるよう活動していきたいと思っています。

～最後に～

今年から摂食・嚥下障害看護認定看護師として活動をはじめ、日々手探りの中活動しております。臨床で看護を行っている皆さんの声を活動に反映していきたいと思っておりますので、何か困難に感じていることや、疑問に思っていることがあれば、気軽にお聞かせいただきたいと思っております。



患者さんの食べる権利を守り、患者さんが望む方向に進むためにはどうしたらよいか、摂食・嚥下障害看護の観点から一緒に考えていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

皮膚・排泄ケア特定認定看護師の同行訪問を開始します！



ご自宅で療養中の患者さんへ

ご自宅で療養中通院が難しい方に、当院の専門・認定看護師が、担当の訪問看護師さんと一緒にご自宅に伺い、退院後の療養生活について相談や支援をさせていただきます。

【対象の患者さん】

当院を退院し、褥瘡(床ずれ)やストーマケアにお困りの方

- ・ 真皮を越える褥瘡の状態にある方

⇒とこずれの処置の方法や体の位置、マットレスの選択など検討します。

- ・ 人工肛門又は人工膀胱を造設し管理が困難な方

⇒ストーマ周囲の皮膚障害、装具の変更やケア方法の検討をします



【料金】

・在宅患者訪問看護指導料をいただきます(医療保険を使用できます)

1割負担	3割負担
1290円	3860円

・当院看護師の交通費(実費)もご負担いただきます。

・お支払いは、訪問後当院より請求書と振込用紙を郵送します



【訪問時の取り決め】

・訪問時は、患者さんと担当の訪問看護師さんとお伺いする日程を決めて、あらかじめお知らせします。

・正当な理由なく訪問で知りえた情報について漏らすことはしません。

・医療上の連携や緊急時等必要がある場合、病院と訪問看護ステーションの間で、記録(診療情報提供書など)により情報交換します。

・訪問中に事故が発生した場合には、応急措置、主治医への報告措置など速やかに対処します。

認定看護師の同行訪問の依頼は、当院ホームページより専用の申込用紙がダウンロードできます。必要事項を記入の上、下記までFAXしてください。ご不明な点、お問い合わせは下記までご連絡ください。

公立学校共済組合関東中央病院 地域医療連携室

直通電話:03-3429-1346

FAX03-3429-1702



■ 今回のオススメの書籍をご紹介します！



摂食・嚥下障害の基本知識をわかりやすい文章と図版で解説。脳の構造と機能を深く理解することで、適切で安全なケアを学べます。

「深く深く知る脳から分かる
摂食・嚥下障害」
発行所：株式会社学研メディカル
秀潤社
執筆者：馬場元毅、鎌倉やよい



「ドレッシング材・外用薬の
選び方と使い方」
出版社：照林社
監修者：溝上祐子

種類が多すぎて悩んでしまうドレッシング材・外用薬。各製品のメリット・デメリットを示し、褥瘡治療の新しいコンセプト「Wound Hygiene（創傷衛生）」や改定された褥瘡評価ツール「DESIGN-R2020」を踏まえた最新情報満載。

公立学校共済組合 関東中央病院 看護部

